

より良い日本へ

成田市立公津の杜中学校3年 崎尾 心結

皆さんは、「復興特別所得税」という言葉を聞いたことはありますか？私は災害について調べたときにこの言葉を知りました。「復興特別所得税は何のためにあるのだろう」と疑問に思い、調べてみることにしました。

復興特別所得税とは、復興のために必要な財源の確保を目的として徴収されている税金のことです。平成二十三年に公布された「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づいて、平成二十五年から令和十九年まで、所得税を払っている人が追加で税金を納める仕組みだそうです。復興特別所得税は被災者支援や産業の再生、住宅再建などに使われているそうです。

東日本大震災の当時の様子について、父に話を聞いてみました。父は当時、成田空港で仕事をしていました。揺れはとても大きく、オフィスから荷物が沢山落ちてきたと話していました。空港では大勢の人が列を作り、駐車場へ避難していたそうです。空港が封鎖されて誰も空港から出られない時間もあったそうです。震災後も定期的に震度四程度の地震が発生し、空港の天井が壊れてしまったそうです。

当時の様子について、岩手県に住む伯父にも話を聞いてみました。町中が大きく揺れ、いつもの景色、いつもの日常が一瞬にして奪われてしまったと話していました。ライフラインは完全に寸断され、何日かお風呂にも入れず、夜はろうそくを灯して生活をしていたそうです。

私はその話を聞いて驚きました。地震が原因で日常生活に欠かせないライフラインが突然使えなくなるなんて今まで想像したこともありませんでした。今までは普通に生活できることが当たり前だと思っていたのですが、それが決して当たり前ではないということに気付きました。

今現在、被災地は少しずつ復旧、復興が進んでいます。しかし、十四年経った今でも復旧、復興の進んでいない地域が残っているのが現状です。私はまだ税金を納められる年齢ではないので、被災地の特産品を買ってその地域を応援したり、ボランティアに参加して社会に貢献したりしたいと思います。

私は、復興特別所得税について調べて、災害の復旧、復興にも税金が大きく関わっているということがわかりました。多くの人が税金を納めているおかげで復旧、復興が進められていることを知り、感謝の気持ちを持ちました。今は自分ができることを前向きに取り組み、大人になったら税金を納めて、復旧、復興のお手伝いをすることができたらいいと思います。そして多くの人が税金を通して助け合いのできる社会になっていくことを心から願っています。私自身も助け合いをすることの大切さを忘れずに生きていきたいと思っています。